

はじめに

入学おめでとうございます。未来への希望を抱き、無限の可能性を秘めた皆さんを、立命館大学の教職員一同、心から歓迎いたします。

この『未来を拓くーようこそ立命館へー』は、2026年度に新たに立命館大学で学ぶ皆さんを対象に、立命館大学の大切な理念と本学における学びの特長をお知らせすることを目的として作成いたしました。

第1章のテーマは、「立命館憲章」です。「立命館憲章」は、立命館大学をはじめ、附属校や立命館アジア太平洋大学が属する立命館学園全体の根幹となる理念と使命を共有し、発信するために定められました。第1章では、この憲章の内容を解説しながら、立命館大学がどのようにかたちづくられたか、立命館大学の理念に基づき組織はどのように発展してきたか、立命館大学は今なにを目指しているのか、を述べています。建学の精神である「自由と清新」と教学理念である「平和と民主主義」を、それらが定められた歴史的背景とともに理解することは、本学の教職員はもちろん、本学で学ぶ皆さんたちにとっても大切であると考えています。

第2章のテーマは、本学の中期計画であるチャレンジデザインR2030のキーワードである「次世代研究大学」・「次世代探究学園」を踏まえた「学びの立命館モデル」です。「学びの立命館モデル」とは、学生の皆さん一人一人が主体的な学習者として学びのスタイルを確立し、ともに学び合い、相互に支え合いながら、「学びのコミュニティ」を形成していくことを支援するさまざまな制度やしきみを意味するものです。第2章の冒頭に「学びの立命館モデル」のイメージを示すイラストを掲げましたので、まずはそちらをご覧ください。イラストに続くページには、それぞれの項目の簡単な説明と、より詳しい情報が掲載された学内Webサイトへのリンクを付しています。説明の内容に興味や疑問を感じた場合は、リンク先の情報を確認することをお勧めします。

『未来を拓くーようこそ立命館へー』は、2020年度までは170ページを超える紙冊子として発行していましたが、2021年度からは新入生にとって読みやすいよう内容を全面的に見直し、Web冊子として作成しています。改訂に伴い分量は大幅に削減されましたが、学部ごとの学びの紹介や、青年期の自己形成と他者理解など、現行版にない記事が掲載された旧版（2020年度版）も、Webページから引き続き閲覧できますので、ぜひ併せてご覧ください。

2020年初めからの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は、大学での学びに大きな影響を与えました。その影響は2021年度を経て2022年度までにも及び、2023年度からようやく制限のない状態に戻りました。コロナ禍への対応は、授業や学習の仕方、とりわけICT（Information and Communication Technology）の積極的な活用という面で、かつてない変化をもたらしました。立命館大学の対応や各種支援、DX（Digital Transformation / デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについては、「新入生のためのスタートアップサイト」をご参照ください。

立命館大学が大切にしてきた「主体的な学びの姿勢を確立すること」や、「学生が学び合い支え合う『学びのコミュニティ』を形成すること」の重要性は、むしろコロナ禍の不自由な状況において、その意義が見直されるようになりました。こうした過去の経験を忘れることなく、「毎日キャンパスに通う」というありふれた日常の意味も、今あらためて問い直されています。これからの立命館大学での学び、皆さんがそれぞれのビジョンを持ち、主体的に学び、ピアでの学びを通じて成長のための第一歩を踏み出すことに、本冊子が少しでも役立つことを願っています。